



京都大学たちばな賞（優秀女性研究者賞）表彰式

若手の女性研究者の優れた成果を讃える制度である、京都大学たちばな賞（優秀女性研究者賞）の第7回表彰式が、3月3日（火）、京都大学 楽友会館2階会議・講演室にて開催されました。

はじめに、選考委員長の稲葉 カヨ理事より開会の挨拶がありました。

続いて、たちばな賞 学生部門受賞者の志達 めぐみ氏（理学研究科 博士課程3年）、研究者部門受賞者の内田 由紀子氏（こころの未来研究センター 特定准教授）に、山極 壽一総長よりそれぞれ表彰状と記念楯が授与され、株式会社ワコールの安原 弘展代表取締役社長から、副賞の「ワコール賞」が授与されました。

次に、優秀女性研究者奨励賞 研究者部門受賞者の大澤 志津江氏（生命科学研究科 講師）、浅井 歩氏（宇宙総合学ユニット 特定准教授）に、山極総長より表彰状が、安原社長より副賞が授与されました。

その後、山極総長、安原社長から受賞者へ祝辞が述べられました。

表彰の後、たちばな賞受賞者の志達氏、内田氏が研究発表を行いました。

最後に、杉万 俊夫理事による閉会の挨拶があり、表彰式は盛会のうちに幕を閉じました。



左から、山極総長、志達氏、内田特定准教授、安原社長



左から、稲葉理事、浅井特定准教授、大澤講師、内田特定准教授、志達氏、杉万理事



左から、山極総長、大澤講師、浅井特定准教授、安原社長

たちばな賞（優秀女性研究者賞）

部門	氏名	所属・身分（受賞時）	研究テーマ
学生部門	志達 めぐみ	理学研究科 博士課程3年	ブラックホールの観測的研究
研究者部門	内田 由紀子	こころの未来研究センター 特定准教授	文化と幸福：日本における関係志向的幸福についての文化心理学的実証研究

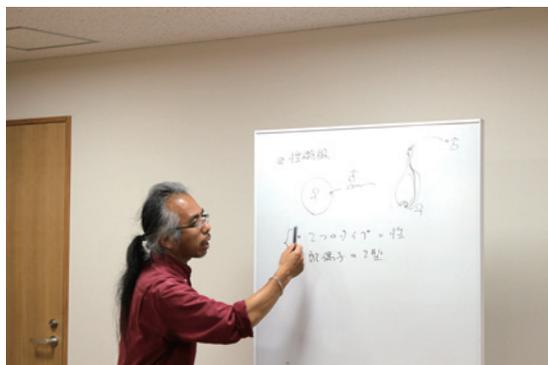
優秀女性研究者奨励賞

部門	氏名	所属・身分（受賞時）	研究テーマ
研究者部門	大澤 志津江	生命科学研究科 講師	細胞間コミュニケーションを介した組織成長制御の遺伝的基盤
	浅井 歩	宇宙総合学ユニット 特定准教授	太陽面爆発の観測的研究とそれに基づく宇宙天気研究の推進

ポケット・ゼミ「ジェンダーと科学」開講

平成27年度のポケット・ゼミ（前期）「ジェンダーと科学」が開講しました。1回生を対象に、少人数での講義、討論などを通して、ジェンダーについての基礎知

識や考え方を身につけます。講師4名で全13回の講義を予定しています。



平成27年度 ポケット・ゼミ（前期）「ジェンダーと科学」講師・テーマ一覧

講師	テーマ
伊藤 公雄（文学研究科 教授）	オリエンテーション・ポケゼミの目的と内容について ジェンダーと科学 討論とワーク・ショップ まとめ
山内 淳（生態学研究センター 教授）	性の進化について
林 晶子（医学研究科 特定准教授）	医学とジェンダー
速水 洋子（東南アジア研究所 教授）	ジェンダーと文化人類学

■時間：火曜日 5限（16時30分～18時）

■場所：男女共同参画推進センター 会議室

全学共通科目（前期）「ジェンダー論」開講

伊藤 公雄教授の全学共通科目「ジェンダー論」が開講しました。ジェンダーについて、主に人文社会科学の

視点から考察することを通して、ジェンダーに敏感な視点を養うことを目指します。



出前講義 京都女子高等学校にて浅井特定准教授が講演

4月25日(土) 京都女子高等学校の「大学進路講演会」にて、京都大学 学際融合教育研究推進センター 浅井 歩 特定准教授が「母なる星『太陽』と宇宙の天気」と題し、出前講義を行いました。



天文台で撮影した太陽の表面の写真や動画、解析結果などを使用し、太陽フレアの与える影響や宇宙天気予報について講義を行い、講義後は、学生や保護者の方からたくさんの質問が寄せられました。



冊子「未来に繋がる青いリボンのエトセトラ Vol.2」発行

京都大学を目指す学生に向けて、さまざまな学問分野で活躍する本大学の女性研究者を紹介する冊子「未来に繋がる青いリボンのエトセトラ」のVol.2を発行しました。研究テーマを選んだきっかけや、研究の面白み、研究する上で大切にしていることなど、それぞれの研究者の考えや想いが詰まっています。

男女共同参画推進センターにて冊子を配布しておりますので、ご入用の方はセンターまでご連絡ください。また、ホームページからPDF版をダウンロードできます。

男女共同参画推進センター

メールアドレス: w-shien@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

Web: <http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp>

好きなものを土台にして
技術や考えを繋ぐことが大切

現在の学術研究は、さまざまな分野で個々には深く掘り下げられているもの、それぞれがバラバラに孤立しています。実験や観察、調査を通して1つのことを追求するのは重要ですが、今後それらを繋ぐことも大切です。

例えば、今や人間のゲノム(全遺伝子情報)は簡単に読めるようになりましたが、ゲノムを解読する人、そのデータを解析する人、病気の原因を臨床の立場で研究する人が一緒に協力して初めて、病気と遺伝子の関係が明らかになります。1つの分野だけを見るのではなく、いろいろな技術や考え方を繋ぎ、研究の視野を広げていくべき時代になりました。

みなさんは、大学に入ったらまず、おもしろいと感ずるもの、興味を持って続けられるものを自分で見つけてください。それを足がかりとして、そこから繋がる全体像を俯瞰できるようなることが大切です。

さまざまな学問分野で

日々研究を続ける京都大学の研究者たち。

今回もその素顔と生き方を紹介します。

現代を生きる彼女たちからのメッセージは
あなたの未来に繋がっているかもしれません。



Girls, be ambitious

稲葉 カヨ
副学長
男女共同参画推進センター長
生命科学部 教授

奈良女子大学理学部卒業。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。京都大学理学部助教授(女性初)、同大学院理学研究科助教授を経て、生命科学部研究科教授に就任。生命科学部研究科長(女性初)を務めた。米国ロックフェラー大学連携教授を併任。免疫システムにおける樹状細胞の主要な役割の解明に貢献し、2014年「ロレアル・ユネスコ女性科学賞」を受賞。

	医学研究科 教授 柳田 素子 p.3		法学研究科 准教授 木村 敦子 p.12
	人文科学研究科 助教授 宮 紀子 p.4		農学研究科 講師 山根 久代 p.13
	白眉センター 数理情報研究所 特定助教 鈴木 咲衣 p.5		工学研究科 助教 宮川 愛由 p.14
	理学研究科 助教 林 昭映 p.6		医学研究科 教授 木原 正博 医学研究科 准教授 木原 雅子 p.15
	教育学研究科 教授 明和 政子 p.7		医学研究科 教授 篠原 隆司 医学研究科 助教 篠原 美都 p.17
	経済学研究科 教授 渡辺 純子 p.8		研究女子特別座談会 p.19
	アジア・アフリカ地域研究科 助教 近藤 史 p.11		

日仏討論会「労働市場における男女間の不平等 袋小路から抜け出るには？」

5月9日（土）芝蘭会館（稲盛ホール）にて、日仏討論会「労働市場における男女間の不平等 袋小路から抜け出るには？」を開催しました。

この討論会は、「男女間の不平等との闘い 袋小路を抜け出すためのイニシアティブとは？」をテーマに、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、上智学院男女共同参画推進室、京都大学が共同で開催した討論会のひとつです。

竹村 登茂子氏（読売新聞）の司会進行で、はじめに、稲葉 カヨ理事より、この討論会がフランスと日本のジェンダー平等をさらに加速、促進することを祈念して開会の辞が述べられました。



開会の辞 稲葉理事

続いて、パネリストのフランソワーズ・ミレウスキ氏（パリ政治学院教授）、橘木 俊詔氏（京都大学名誉教授）、小酒部 さやか氏（マタハラ Net 代表）、小笠原 隆裕氏（アクサ生命保険株式会社 執行役）、ダニエル・ブスケ氏（フランス男女平等推進委員会会長）が各々のテーマに沿って冒頭発表の後、日本で女性が働く上での問題点や、それに対するフランスの現状などについて意見交換をし、今後日本が進むべき道筋について議論しました。

最後に、横山 美夏教授による総括の辞で、盛況のうちに討論会を締めくくりました。



総括の辞 横山教授



討論会の様子



Gender Equality Promotion Center

〒 606-8303 京都市左京区吉田橘町
電話 075 (753) 2437
FAX 075 (753) 2436
E-mail w-shien@mail.adm.kyoto-u.ac.jp
HP <http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>